



PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **09330470 A**(43) Date of publication of application: **22.12.97**

(51) Int. Cl. **G07F 17/40**
G06F 17/60
G06F 19/00

(21) Application number: **08146059**(22) Date of filing: **07.06.96**(71) Applicant: **KIYOUUSERA MULTI MEDIA CORP:KK**

(72) Inventor: **TAKASE AKIHIRO**
SAITOU TOSHIHIDE
AOKI ICHIRO

(54) **PHYSICAL DISTRIBUTION METHOD UTILIZING COMMUNICATION NETWORK AND ITS SYSTEM**

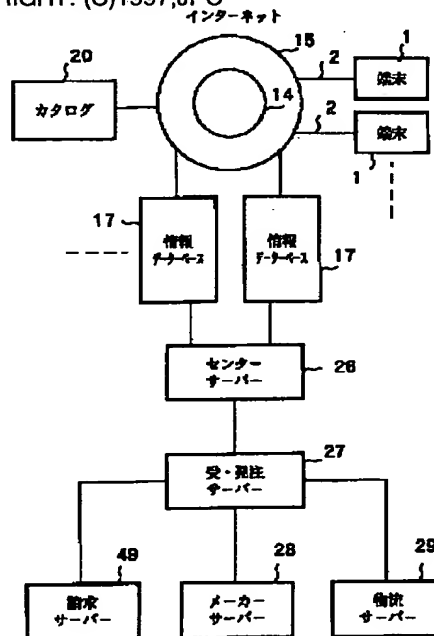
(57) Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To purchase merchandise by simplifying a procedure and making a paying contract certain through the use of internet information.

SOLUTION: After a communication terminal 1 receives merchandise information on an information network and the piece of information is seen, connection with the information network is finished. The terminal 1 orders merchandise to a characteristic information data base 17 previously registering as a member and then communication is disconnected. Next the data base 17 requests the handling of sales to a receiving and ordering server 27 contracting and registering in advance. After a maker managing server 26 to be accessed receives the order from the server 27, the delivery of merchandise to a designated place is instructed to a material distribution managing server 29. When merchandise is delivered by a delivery schedule prepared by the server 29 and information of the finish of delivery is sent to the server 27, the server 27 accesses to the charge managing server 49 of a financial company contract and registering in advance

to charge the communication terminal.

COPYRIGHT: (C)1997,JPO



(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平9-330470

(43) 公開日 平成9年(1997)12月22日

(51) Int.Cl. ⁶	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 7 F 17/40			G 0 7 F 17/40	
G 0 6 F 17/60			G 0 6 F 15/21	3 3 0
19/00			15/30	3 6 0

審査請求 未請求 請求項の数14 O L (全 12 頁)

(21) 出願番号 特願平8-146059

(22) 出願日 平成8年(1996)6月7日

(71) 出願人 596070869

株式会社京セラマルチメディアコーポレーション

東京都千代田区平河町二丁目7番4号

(72) 発明者 高瀬 明宏

東京都千代田区平河町二丁目7番4号 株式会社京セラマルチメディアコーポレーション内

(72) 発明者 斎藤 稔秀

東京都千代田区平河町二丁目7番4号 株式会社京セラマルチメディアコーポレーション内

(74) 代理人 弁理士 八嶋 敬市

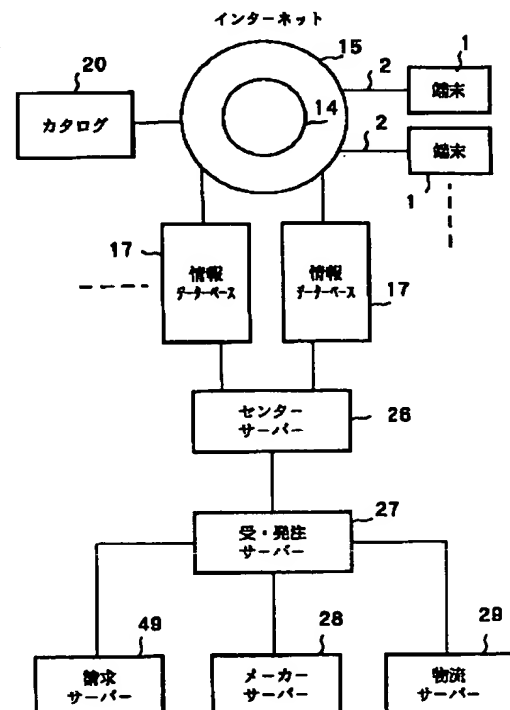
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 通信ネットワークを利用した物流方法と物流システム

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 インターネット情報を利用して、手続きを簡単にしてしかも支払い契約を確実にして商品が購入ができるようにする。

【解決手段】 情報ネットワーク上で通信端末が商品情報を受信して、商品情報を見た後に、情報ネットワークとの接続を終了する。通信端末が予め会員登録をしている固有の情報データベースに商品を発注し、その後通信を切断する。次に情報データベースが、予め契約登録をしている受・発注管理サーバーに販売取り扱いを依頼する。受・発注管理サーバーにより、アクセスされるメーカー管理サーバーが受注を受けた後、物流管理サーバーに商品を指定場所に配達するように指示する。物流管理サーバーが、作成した配送スケジュールにより商品が配達され、配達済み通知が、受・発注管理サーバーに送られると、受・発注管理サーバーが予め契約登録をしている金融業者の請求管理サーバーにアクセスし、通信端末に対し課金することを依頼する。



1

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 標準化され通信回線により互いに接続される複数のコンピュータやパソコンや情報処理装置からなる開かれた情報ネットワーク上に、通信端末を接続し、この通信端末が情報ネットワークを介し特定の情報処理装置から商品情報を受信して、自局通信端末の表示装置に表示し、

次に、この通信端末側で接続先を切り替える切替キーを操作することにより、前記情報ネットワークとの接続を終了し・切断し、自局通信端末に内在する通信プログラムにより通信回線を介して自局通信端末が予め会員登録をしている情報データベースにアクセスし、

前記商品情報に基づき所定商品を前記情報データベースに対して発注し、その後に前記通信プログラムにより自局通信端末と前記情報データベースとの間の通信を切断し、

前記情報データベースが、予め契約登録をしている受・発注管理サーバーにアクセスし、前記発注された所定商品について販売取り扱いを依頼し、

前記受・発注管理サーバーから、前記情報ネットワーク上に商品情報を提供しているメーカー管理サーバーがアクセスされ、前記所定商品について受注を受けて、

前記メーカー管理サーバーが、運送業者の物流管理サーバーにアクセスし、前記所定商品を所定倉庫より受け取り指定場所に配達するように指示し、

前記物流管理サーバーが、前記所定商品の運送について配送スケジュールを作成するとともに、この配送スケジュールを前記メーカー管理サーバーと受・発注管理サーバーと情報データベースに通知し、

この配送スケジュールに従って、前記所定商品が指定場所に配達され、配達済み通知が前記物流管理サーバーに登録され、

この配達済み通知が、前記物流管理サーバーからメーカー管理サーバーと受・発注管理サーバーと情報データベースに送られ、

前記受・発注管理サーバーが予め契約登録をしている金融業者の請求管理サーバーにアクセスし、前記配達された所定商品について前記通信端末に対し課金することを依頼し、

前記請求管理サーバーが前記会員登録している通信端末の住所に請求書を発行するとともに、前記会員の銀行口座から前記商品の代金を引き落とし、

前記請求管理サーバーが、この代金を引き落とし済みをメーカー管理サーバーと受・発注管理サーバーと情報データベースに通知するようにした通信ネットワークを利用した物流方法。

【請求項 2】 前記開かれた情報ネットワークがインターネットであることを特徴とする請求項 1 に記載の通信ネットワークを利用した物流方法。

【請求項 3】 前記商品が物であることを特徴とする請

2

求項 1 または 2 に記載の通信ネットワークを利用した物流方法。

【請求項 4】 前記商品がサービスの提供であることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の通信ネットワークを利用した物流方法。

【請求項 5】 前記通信端末が前記情報データベースにアクセスして、前記配送スケジュールや、配達済み通知や、引き落とし済み通知を随時受信することの特徴とする請求項 1 から 4 のいずれか一項に記載の通信ネットワークを利用した物流方法。

【請求項 6】 標準化され通信回線により互いに接続される複数の情報処理装置からなり、任意に情報処理装置を接続可能な開かれた第一の情報ネットワークと、加入契約を行った加入者のみが、その情報処理装置を接続可能な閉じている第二の情報ネットワークと、前記第一の情報ネットワークと前記第二の情報ネットワークとのいずれか一方に接続するための接続切替手段を備えた通信端末ととからなる通信ネットワークワークを利用した物流システムであって、

前記通信端末を前記第一の情報ネットワークに接続し、前記第一の情報ネットワークにおいて、複数の販売業者が提供する商品情報の中から所望の商品情報を選択し、選択された商品情報を用いて、前記第二の情報ネットワークにおいて前記通信端末により商品の発注を行い、前記第二の情報ネットワークに設けられたホストコンピュータが前記商品の流通工程を管理することを特徴とする通信ネットワークを利用した物流システム。

【請求項 7】 前記通信端末が、選択されたの商品情報を記録するための記憶手段を備えていることを特徴とする請求項 6 に記載の通信ネットワークを利用した物流システム。

【請求項 8】 前記通信端末が、前記記憶手段に記録されたの商品情報を用いて、発注を行うことを特徴とする請求項 7 に記載の通信ネットワークワークを利用した物流システム。

【請求項 9】 前記第二の情報ネットワークが、前記通信端末からの注文を受け、次段への注文を行うとともに、前記商品の流通工程を管理するための受・発注管理サーバーと、前記商品の在庫を管理するとともに、前記商品の配送を管理するための物流管理サーバーと、前記商品の代金の請求工程を管理するための請求管理サーバーとを備えていることを特徴とする請求項 6 に記載の通信ネットワークを利用した物流システム。

【請求項 10】 前記物流管理サーバーが前記商品の配送スケジュールを作成するためのスケジュールを作成手段を備えていることを特徴とする請求項 9 に記載の通信ネットワークを利用した物流システム。

【請求項 11】 前記物流管理サーバーが、前記商品の発送状況を管理するための配送管理テーブルとこの配送管理テーブルを更新するための管理テーブル更新手段を備

3

えていることを特徴とする請求項9に記載の通信ネットワークを利用した物流システム。

【請求項12】前記受・発注管理サーバーが前記請求管理サーバーに前記商品の代金の請求情報を伝達し、前記請求管理サーバーが前記請求情報を所定期間について集計を行うための集計手段を備えていることを特徴とする請求項9に記載の通信ネットワークを利用した物流システム。

【請求項13】前記請求管理サーバーが、前記集計手段による集計結果をもとに、前記通信端末宛に、前記代金の請求を行うための代金請求手段を備えていることを特徴とする請求項12に記載の通信ネットワークを利用した物流システム。

【請求項14】前記請求管理サーバーが前記商品の代金を利用者の所定の口座より引き落とすための引き落とし手段を備えていることを特徴とする請求項9、または12から13のいずれか一の項目に記載の通信ネットワークを利用した物流システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、インターネットや通信カラオケや情報配信等の通信ネットワークを利用した物流方法と物流システムに関する。

【0002】

【従来の技術】現在世界に開かれた情報ネットワークとしてインターネットが普及している。一方、会員制の情報ネットワークにはPC-VAN、NIFTY等があり、また各種のクレジットカードネットは一種の売買専用のネットワークである。インターネットでは、世界中の情報が家に居ながら手に入り、また逆に、世界に向けて電子メールを発信することができる。かくして不特定多数に対して、自分のホームページを公表できるが、その殆どは英語のホームページであり、日本人には普及が困難であった。インターネットを利用した商品取引引きでは、直接には課金ができないので、2重の手続き必要となっている。例えばCD音楽の買い物をする場合、WAVEのホームページを呼び出し、CD注文のラインをクリックすると、購入可能なCDのリストが表示される。買いたいCDの項目にチェックマークを入れると、その合計金額が表示され、次いで自宅の電話番号を入力する。後日WAVEから確認の電話がかかってきた時点で、発注が確定し、その後に請求書とともにCDが届くようになっている。一方会員制のネットワーク上では電子カタログにより商品を紹介し、申し込み先の申し込み書を表示して、注文を受けられるようになっている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】従来のインターネットを利用したWAVEにおける注文では、商品購入のためには他人に自宅の電話番号を教えるという不安があった。また、後日改めて電話をかける必要があり、WAV

4

E側にも利用者にも手間が掛かりコストが高くなるという問題があった。インターネットでは管理者が不在のため、インターネットに対する信頼度は低く、商品の購入には不安があった。クレジットカードを利用する買い物では、常に直接インターネットを利用できるものではなかったし、また本人であるかの確認が困難で、セキュリティの確立が今後の課題になっている。会員制のネットワークを介しインターネット情報を利用するものでは、申し込み先が当該ネットワークとは別であり、確認や申し込み方法が複雑なものであった。この発明ではインターネット情報を利用して、自由に商品を選ぶことが出来、手続きを簡単にしてしかも支払い契約を確実に行うことにより安心して商品の購入ができるようにする。

【0004】

【課題を解決するための手段】請求項1の発明は、標準化され通信回線により互いに接続される複数の情報処理装置からなる開かれた情報ネットワーク上に通信端末を接続する。この通信端末が情報ネットワークを介し特定の情報処理装置から商品情報を受信して、自局通信端末の表示装置に表示する。この商品情報を見た後に、通信端末側で接続先を切り替える切替キーを操作し、前記情報ネットワークとの接続を終了し、切断する。自局通信端末に内在する通信プログラムにより通信回線を介して自局通信端末が予め会員登録をしている固有の情報データベースにアクセスする。商品情報に基づき所定商品を情報データベースに対して発注し、その後通信プログラムにより自局通信端末と前記情報データベースとの間の通信を切断する。次に情報データベースが、予め契約登録をしている受・発注管理サーバーにアクセスし、発注された所定商品について販売取り扱いを依頼する。受・発注管理サーバーにより、前記情報ネットワーク上に商品情報を提供しているメーカー管理サーバーがアクセスされ所定商品について受注を受ける。メーカー管理サーバーが、運送業者の物流管理サーバーにアクセスし、所定商品を所定倉庫より受け取り指定場所に配達するように指示する。物流管理サーバーが、所定商品の運送について配送スケジュールを作成するとともに、この配送スケジュールを前記メーカー管理サーバーと受・発注管理サーバーと情報データベースに通知する。この配送スケジュールに従って、所定商品が指定場所に配達され、配達済み通知が物流管理サーバーに登録される。この配達済み通知が、物流管理サーバーからメーカー管理サーバーと受・発注管理サーバーと情報データベースに送られる。受・発注管理サーバーが予め契約登録をしている金融業者の請求管理サーバーにアクセスし、配達された所定商品について通信端末に対し課金することを依頼する。請求管理サーバーが会員登録している通信端末に請求書を発行するとともに、この会員の銀行口座から前記商品の代金を引き落とす。請求管理サーバーが、この代金を引き落とし済み

管理サーバーと情報データベースに通知する。

【0005】

【発明の実施の形態】

実施の形態 1. 以下この発明を図面に従って説明する。まず、図 1、図 2、図 3、図 4 において、本発明の通信ネットワークを利用した物流方法を実施する装置の構成について説明する。まず、図 1 において全体構成は、発信元になる複数の家庭用の通信カラオケ端末 1 がそれぞれ独立に通信回線 2 を介して、データ配送元の音楽データ等の情報データベース 17 に接続可能であり、またこれら通信カラオケ端末 1 は同じ通信回線 2 を介してパソコン通信ネットワークや、世界に開かれたインターネット 15 にも接続可能となっている。

【0006】通信回線 2 には NTT、DDI、第 2 電電の公衆回線 14 があり、これらは更にインターネット 15 に接続可能であり、インターネット 15 には世界の多くの業種の電子ニュースやホームページ 20 がアップロード可能となっている。通信回線 2 にはまた、特定の情報データベース 17 が接続可能であり、情報データベース 17 には、家庭用通信カラオケの市場に提供されている京セラマルチメディアコーポレーションが提供する X ネットサービス等が該当する。

【0007】情報データベース 17 は専用の通信回線の ISDN 等を介し、センターサーバー 26 に接続され、情報データベース 17 は各地方毎に設置されており、例えば各県にあり、センターサーバー 26 は 1 または 2 ヶ所に設けている。センターサーバー 26 には、また専用の通信回線 ISDN 等を介し、物流と金銭を管理する受・発注管理サーバー 27 に接続されている。受・発注管理サーバー 27 には専用の通信回線 ISDN 等を介し、メーカーサーバー 28、物流管理サーバー 29、請求管理サーバー 49 等に接続されている。

【0008】図 3 において、情報データベース 17 は中央演算装置の CPU 19 と、顧客データベース 22 と、サービスデータベース 23 と、物流データベース 24 と、37 とで構成される。図 2 において、全国の情報データベース 17 を管理するセンターサーバー 26 は、同様な顧客データベース 22、サービスデータベース 23、物流データベース 24、センターデータベース 37 で構成される。

【0009】流通専門の受・発注管理サーバー 27 には、センターサーバー 26 から顧客データベース 22 が報告されており、同一内容の顧客データベース 36 を備えている。また、メーカーサーバー 28 には、在庫データベース 44 と出庫データベース 45 とを備え、配達専門の物流管理サーバー 29 には、資源テーブル 46 と、配送データベース 48 とを備えている。

【0010】資源テーブル 46 には人材、車両、距離データ、取り扱いコンビニストア等を記憶し、配送データベース 48 には、配送予定を作成、更新できる。更に、

課金専門の請求管理サーバー 49 には、顧客データベース 51 と、請求書フォーム 52 を備えている。この顧客データベース 51 は、センターサーバー 26 の顧客データベース 22 や受・発注管理サーバー 27 の顧客データベース 36 とほぼ同一内容である。

【0011】次に、図 4 は消費者の家庭の通信カラオケ端末 1 の構成を示し、通信制御回路のモデム 4 と、ROM からなる主プログラム 5、汎用プログラム 6、専用プログラム 7 と、一時格納用のワークメモリ 8 と、曲データ等を記憶する記憶装置 9、中央演算装置の CPU 13、カラオケ再生回路 50 とから構成され、またテレビ 3 のモニター用 CRT 16、リモートコントローラ 41、マイク 42、スピーカ 18 が必要であり、モデム 4 には通信回線 2 が接続されている。

【0012】通信カラオケ端末 1 は通信端末の一種であり例えば、市販されている家庭用通信カラオケの X-55 であり、主プログラム 5 には電源オン直後に表示される主メニュー等が格納されている。主メニューには、汎用のパソコン通信に入るか、専用のカラオケ通信に入るかの選択メニューが準備されている。ここで、専用のカラオケ通信は、名称こそがカラオケとなっているが、データ通信によるカラオケを中心にして、ゲーム、天気予報、旅行情報、ニュース配信等をする、有償な会員制のデータネットワークである。

【0013】汎用プログラム 6 には、国内の通信ネットワーク例えば PC-VAN、NIFTY 等への接続ソフトや、またインターネットプロバイダーへの接続ソフト (IP) 10 がある。更に、汎用プログラム 6 には本願の中心となる物流キーの例えば X キー用のソフト 11 が含まれる。この X キーは画面にアイコンとして表示され押下されると、通信端末側で、インターネットから情報データベース 17 に接続先を切り替える切替キーである。

【0014】専用プログラム 7 には、各種サービスの項目ソフト 12 があり、例えばカラオケ、ゲーム、天気予報、旅行情報、ニュース配信等の実行ソフトが該当する。更に、専用プログラム 7 には、注文プログラム 35 が含まれる。発注プログラム 35 は商品発注用のメニューデータであり、会員番号、商品番号、商品名、単価、個数、合計金額、消費税額、配達の希望日時間、配達先住所等の記入用項目がある。

【0015】ワークメモリ 8 は IC メモリの RAM からなり、モデム 4 からの受信データをリアルタイムで一時記憶し、また CPU 13 の作業領域ともなる。記憶装置 9 は小型のハードディスクから構成され、ワークメモリ 8 のデータを記憶でき、また通信カラオケ端末 1 の外に設けてもよい。

【0016】再度図 3 において、主に外部通信路と情報データベース 17 側の構成を、詳しく説明する。通信回線 2 には、通信カラオケ端末 1 の専用プログラム 7 に対

応した、情報データベース17が接続可能であり、情報データベース17には家庭用通信カラオケの市場に提供されている京セラマルチメディアコーポレーションのXネットサービス等が該当する。

【0017】顧客データベース22には、顧客が通信カラオケ端末1を購入時に、情報データベース17の提供会社、Xネットに申告した顧客の個人データが格納されている。その詳細項目には、例えば住所、氏名、電話番号、会員番号、クレジットカード名、カード番号、銀行名、口座番号等がある。顧客数は万単位の数であり、顧客データベース22はこれらを十分格納できるような大容量の記憶装置であり、変更更新が可能である。

【0018】サービスデータベース23には、音楽データのカラオケデータベースと、ゲームデータベース、天気予報データベース、旅行情報データベース、ニュース配信データベース等がある。サービスデータベース23の内容は日々新たなものが、必要であるので、外部から最新データ25を適宜補充してCPU19により更新される。特に天気予報、旅行情報、ニュースは時間単位で変化するので、更新の頻度が高い。

【0019】本発明動作を図5から、図8のフローチャートで説明する。まず図5のフローチャートにおいて、通信カラオケ端末1に電源がオンされるとフローチャートが開始する。ステップS1では、通信カラオケ端末1のCPU13は主プログラム5から主メニューを読みだしテレビのCRT16に、汎用のパソコン通信か、専用のカラオケ通信かの、選択画面とカーソルとを表示し、スピーカ18からいずれかを選択して下さいと音声案内を鳴らす。通信カラオケ端末1の使用はカーソル移動によりいずれかを選択する。

【0020】ステップS2では、通信カラオケ端末1のCPU13は、選択結果が汎用のパソコン通信か、専用のカラオケ通信かを判断する。汎用のパソコン通信の選択であれば、ステップS3に進み、CPU13は接続ソフト(IP)10にガイドされて、通信カラオケ端末1を通信回線2を介して例えば標準規格のプロトコルTCP/IPで、インターネット15に接続する(NIFTY等の国内の商用ネットでもいい)。

【0021】ここでインターネット15に接続すると、通常のパソコン通信と同様になり、リモートコントローラ41を操作してカーソル42を移動して、テレビのCRT16に各種の電子商品ニュースやホームページ20を引き込み閲覧することができる。電子商品ニュースには、例えばCDディスク販売のWAVEや百貨店のMITUKOSHI、スキー商品等がある。図4ではスキー商品がカラー写真でサイズや値段とともに表示され、印刷物のカタログと殆ど同じ見栄えである。さて、このホームページ20の画面には、図4に示すように、常にXキー用のソフト11により、Xアイコン40がスーパーインポーズされる。

【0022】ステップS4では、CRT16上のホームページ20の画面を見て、必要に応じて好みの商品カタログを選び、商品の品定め等インターネット上でのショッピングを楽しむ。その後、気に入ったカタログをカーソル42で指示すると、CPU13は当該カタログを、RAM8又は記憶装置9に記憶する。ステップS5では、CRT16上のXアイコン40がカーソル42により押されたかどうか調べる。

【0023】押されていなければステップS3に戻り、ステップS3からステップS5をくり返し、ホームページ20を巡回して、好みの商品カタログを探す。ステップS3からステップS5までの動作は、商品探索工程となり、通常のパソコン通信と同様インターネット等へのアクセスである。

【0024】さて、ステップS5でXアイコン40が押されていたら、ステップS6に進みCPU13は汎用プログラム6からXキー用のソフト11を読み出し実行する。ステップS7では、Xキー用のソフト11によりモデム4は通信回線2から切り離される(当然ホームページ20、インターネット15からも切断される)。

【0025】ステップS8から商品注文工程になり、直に通信カラオケ端末1の注文プログラム35が起動し、記憶装置9から商品カタログを表示し、この商品カタログはステップS4で記憶したホームページ20の商品カタログである。CPU13はステップS9では、注文プログラム35から購入申し込み書等をCRT16上に表示する。この購入申し込み書には、メーカー名、商品番号、商品名、単価、個数、合計金額、消費税額、配達希望日、配達先、承諾・訂正等の項目があり、通信カラオケ端末1の使用は必要項目を入力する。

【0026】ステップS10では、CRT16上の購入申し込み書で購入することの最終確認を入力する。この最終確認があると、CPU13はステップS11で、Xキー用のソフト11を起動し、モデム4は通信回線2、DDI14等を介し情報データベース17をアクセスし、通信カラオケ端末1は改めて、会員になっているXネットに接続される。そしてその時情報データベース17のCPU19は、通信カラオケ端末1が顧客データベース22に登録済(契約者)みかどうか、会員番号を基に、例えば住所、氏名、電話番号、会員番号、クレジットカード名、カード番号、有効期限、銀行名、口座番号等をチェックする。

【0027】ステップS12では、CRT16の画面には、サービスデータベース23と物流データベース24の選択メニューが表示される。ステップS13では、情報データベース17のCPU19は物流データベース24が選択されたかどうか調べる。インターネットのカタログを見た後のショッピングであれば、当然物流データベース24が選択されるが、再確認のため敢えて選択を要求する。物流データベース24が選択されていなければ

ば、サービスデータベース 23 が選択されているので、ステップ S 14 に進み、CPU 19 はカラオケデータベースと、ゲームデータベース、天気予報データベース、旅行情報データベース、ニュース配信データベース等の選択メニューを表示して、X ネットの通常のカラオケモードになる。

【0028】また、ステップ S 2 で最初から専用のカラオケ通信であれば、ステップ S 11 に行き、カタログを見ていないので、ステップ S 12、ステップ S 13、ステップ S 14 へと進み、サービスデータベース 23 選択と同じ通信カラオケモードとなる。このサービスデータベース 23 が選択されたステップ S 14 の動作は、通信カラオケ専用の、例えば京セラマルチメディアコーポレーションの X ネットサービス等の動作となる。

【0029】さてステップ S 13 で、物流データベース 24 が選択されていたらステップ S 15 に進むが、それ以降の動作は本発明の商品注文工程以降となる。ステップ S 15 では、通信カラオケ端末 1 から情報データベース 17 へ、ステップ S 9 で作成した購入申し込み書が送信号される。図 5 のフローチャートの A から図 6 のフローチャートの A に進み、この時、通信カラオケ端末 1 の CRT 16 に、購入申し込み書の画面が表示されるので、ステップ S 16 では、詳細内容を確認し、注文ボタンを押下する。

【0030】開放型のインターネットでカタログを見て、会員制の閉鎖型の専用 X ネット上で、通信カラオケ端末 1 から情報データベース 17 に所定商品が発注されたことになる。この購入申し込み書は物流データベース 24 に書き込まれる。注文終了により、ステップ S 17 では、通信カラオケ端末 1 は、基本的な第 1 契約先の情報データベース 17 から切り離される。

【0031】ステップ S 18 以降の動作は通信カラオケ端末 1 の使用者には、見えないもので、商品受注工程となり、情報データベース 17 が代理人になり発信源となり、物流の動作が実行される。ステップ S 18 では、情報データベース 17 は全国を管理するセンターサーバー 26 に購入申し込み書を送る。センターサーバー 26 には、全国複数の情報データベース 17 から毎日購入申し込み書等の報告が届き、これらが集計される。

【0032】集計した購入申し込み書に基づき、ステップ S 19 では、センターサーバー 26 が流通専門で商品手配代行の受・発注管理サーバー 27 に、購入申し込み書を送る。即ち所定商品について販売行為の取り扱いを依頼する。ステップ S 20 では、受・発注管理サーバー 27 は購入申し込み書から、発注者が顧客データベース 36 に登録済みの会員であることを特定し、発注後の課金を確実にする。ステップ S 21 では、受・発注管理サーバー 27 は購入申し込み書に基づきメーカーサーバー 28 向けの注文書を作成する。この時、受・発注管理サーバー 27 は、購入申し込み書に基づき、メーカーデ

ターベース 38 を検索し、商品も特定している。

【0033】ステップ S 22 では、受・発注管理サーバー 27 は、注文書を作成したことを、所定の通信回線を介しセンターサーバー 26 と当該情報データベース 17 に報告する。ステップ S 23 では、注文書が作成されたことを、センターサーバー 26 はセンターデータベース 37 に、当該情報データベース 17 は物流データベース 24 にそれぞれ書き込む。これにより、必要なら通信カラオケ端末 1 の使用者は、当該情報データベース 17 にアクセスして、ステップ S 24 で、いつでも商品の注文の進捗状況を調べることができる。

【0034】図 6 のフローチャートの B から図 7 のフローチャートの B に進み、ステップ S 25 では、受・発注管理サーバー 27 は注文書を、所定の通信回線を介しメーカーサーバー 28 に向けて送信する。ステップ S 26 では、当該商品カタログ 20 をインターネット 15 に掲載し、当該商品を製造している会社のメーカーサーバー 28 は、受・発注管理サーバー 27 から注文書を受信する。メーカー管理サーバー 28 が、所定商品について受注したことが確定する。メーカーはインターネット 20 に費用をかけて宣伝した行為が報われたことになる。

【0035】ステップ S 27 では、メーカーサーバー 28 は在庫データベース 44 を検索し、当該商品が出荷可能であることを確認する。次に、商品配送指示工程になり、ステップ S 28 では、メーカーサーバー 28 は配達業者の物流管理サーバー 29 に、所定の通信回線を介し配達依頼書を送信し、出庫データベース 45 に登録する。この配達依頼書は、所定倉庫より当該商品受け取り、指定場所に配達するように指示する内容となっている。

【0036】ステップ S 29 では、物流管理サーバー 29 は、配達依頼書に基づき、資源テーブル 46 を参照し、車両・人材と配送先、量を計算し、配送スケジュールを作成し、配送データベース 48 に登録する。ステップ S 30 では、物流管理サーバー 29 は、この配送スケジュールをメーカーサーバー 28、受・発注管理サーバー 27、センターサーバー 26、当該情報データベース 17 に所定の通信回線を介し送信する。

【0037】これにより、必要なら通信カラオケ端末 1 の使用者は、当該情報データベース 17 にアクセスして、ステップ S 31 で、いつでも商品の配送の進捗状況を確認することができる。ここでは、配達日に急用で外出するようであれば、配達日を変更したり、配達先を近くのコンビニストア等に変更したり、通信カラオケ端末 1 から当該情報データベース 17 に指示が可能である。

【0038】商品配送工程のステップ S 32 では、物流管理サーバー 29 の配達人の車両が指定日に、商品を配達票とともに指定の住所や、コンビニストア等に配達する。ステップ S 33 では、コンビニストア等に配達後、配達人が配達票写に受領印を受けて、物流管理サーバー

29に戻り、配送データベース48に配達済のフラッグと立てる。

【0039】ステップS34では、物流管理サーバー29は、この配達済のフラッグをメーカーサーバー28、受・発注管理サーバー27、センターサーバー26、当該情報データベース17に所定の通信回線を介し送信する。商品が自宅以外のコンビニストア等に配達されていれば、ステップS34で、通信カラオケ端末1の利用者は、当該情報データベース17にアクセスして、商品の到着状況を確認することができる。

【0040】図7のフローチャートのCから図8のフローチャートのCに進み、商品納品工程のステップS36では、商品を自宅で渡し、配達人はここでも配送票写に受領印を受ける。その後物流管理サーバー29に戻り、ステップS37では、配送データベース48に、渡し済のフラッグをと立てる。コンビニストア等で受領があった場合は、次の巡回時に配達人は、配送票写に受領印を受けて、物流管理サーバー29に戻り、配送データベース48に渡し済のフラッグを立てる。ステップS38では、物流管理サーバー29は、この渡し済のフラッグをメーカーサーバー28、受・発注管理サーバー27、センターサーバー26、当該情報データベース17に所定の通信回線を介し送信する。

【0041】ステップS39では、メーカーサーバー28は出庫データベース45に、受・発注管理サーバー27は顧客データベース36に、センターサーバー26はセンターデータベース37に、当該情報データベース17は物流データベース24にそれぞれ渡し済のフラッグを立てる。渡し済のフラッグは、通信カラオケ端末1の利用者が、当該情報データベース17にアクセスして、受領ボタンを押して通報して、立てることもできる。

【0042】請求工程に入り、ステップS40では、メーカーサーバー28は、出庫データベース45に基づき、受・発注管理サーバー27に請求書を送信し、出庫データベース45に請求書欄を追加する。ステップS41では、受・発注管理サーバー27はこの請求書を金融決済が専門の請求管理サーバー49に通信回線を介し送信し、顧客データベース36に請求書を追加する。

【0043】ステップS42では、請求管理サーバー49は、顧客データベース51を参照し、当該商品を購入している通信カラオケ端末1の利用者に課金し、翌月分の請求書フォーム52を作成し、顧客データベース51にこの商品名と請求金額を追加する。

【0044】ステップS43では、請求管理サーバー49は、この請求書フォーム52をメーカーサーバー28、受・発注管理サーバー27、センターサーバー26、当該情報データベース17に所定の通信回線を介し送信する。ステップS44で、通信カラオケ端末1の利用者は、当該情報データベース17にアクセスして、翌

月の請求料金を確認することができる。

【0045】ステップS45では、当該情報データベース17は、この請求書フォーム52を、別のXネットの使用料金の明細とともに印刷し、会員に発送する。ステップS46では、請求管理サーバー49は、この請求書フォーム52に基づき、月の指定日に当該商品を購入したXネット会員のカード会社や銀行口座から代金を引き落とし、顧客データベース51に振り替え終了のフラッグを立てる。

10 【0046】ステップS47では、請求管理サーバー49は、この引き落とし通知に当たる振り替え終了をメーカーサーバー28、受・発注管理サーバー27、センターサーバー26、当該情報データベース17に、所定の通信回線を介し送信する。ステップS48で、通信カラオケ端末1の利用者は、当該情報データベース17にアクセスすれば、支払い終了を確認し、残高を知ることができる。

【0047】商品情報は広く世界のインターネット15のホームページ20から入手するので、広い範囲の買い物が手軽にできるとともに、会員制の情報データベース17を通じて注文するので、個別の購入に関する売り手と顧客双方に安心感が持てる。物品とは別に、ホテル予約や各種の予約オンラインが実現できる。電子財布や電子マネーで要求される高い精度の本人確認、乱数等の複雑な技術を必要としないので、即実現できる。双方で契約事項について、会員制の情報データベース17を介しリアルタイムの確認ができる。支払い方法が確認でき、商品の受け取り窓口の指定が容易にできる。

30 【0048】受け取った商品に欠陥があった場合、各種のクレーム受け付けや処理も、受け取り場所で直接可能となり、また会員制のために木目細かく手当できる。現在の購入・予定金額の照会が容易で、利用最高限度額の設定は会員制の内部で既に設定されているので、誤認による買い過ぎ事故は発生しない。商品の届け先や受け取り窓口を会員の住所や職場等や近辺に指定できるので、他人が悪意により偽名等を用いて購入する可能性が極めて減少する。

【図面の簡単な説明】

40 【図1】この発明の実施の形態1の通信ネットを利用した物流装置の全体のブロック図である。

【図2】この発明の実施の形態1の通信ネットを利用した物流装置の売買契約装置のブロック図である。

【図3】この発明の実施の形態1の通信ネットを利用した物流装置の外部通信路と特定情報データベース側のブロック図である。

【図4】この発明の実施の形態1の通信ネットを利用した物流装置の通信カラオケ端末のブロック図である。

50 【図5】この発明の実施の形態1の通信ネットを利用した物流方法の主に商品検索工程の動作を説明するフローチャートである。

13

【図6】この発明の実施の形態1の通信ネットを利用した物流方法の商品注文と主に受注工程の動作を説明するフローチャートである。

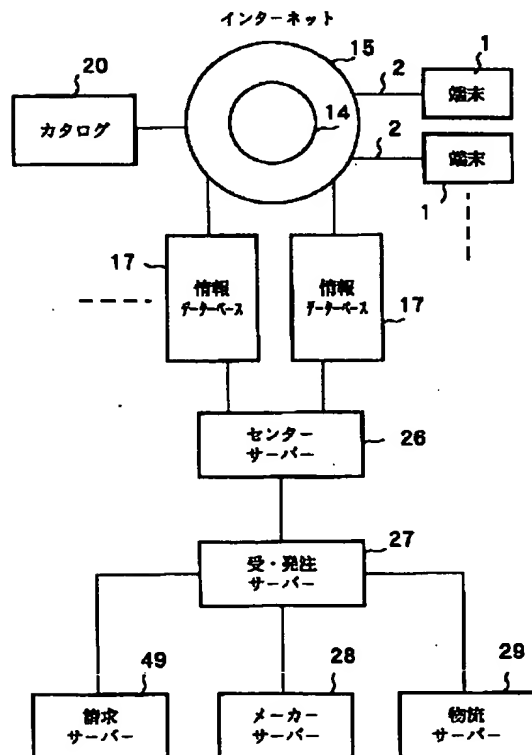
【図7】この発明の実施の形態1の通信ネットを利用した物流方法の商品配送指示と配送工程の動作を説明するフローチャートである。

【図8】この発明の実施の形態1の通信ネットを利用した物流方法の商品納品と請求工程の動作を説明するフローチャートである。

【符号の説明】

- 1 通信カラオケ端末
- 2 通信回線
- 3 テレビ
- 4 モデム
- 5 主プログラム
- 6 汎用プログラム
- 7 専用プログラム
- 8 ワークメモリ
- 9 記憶装置
- 10 接続ソフト (I P)
- 11 Xキーのソフト
- 12 カラオケプログラム
- 13、19 中央演算装置のCPU
- 14 公衆回線

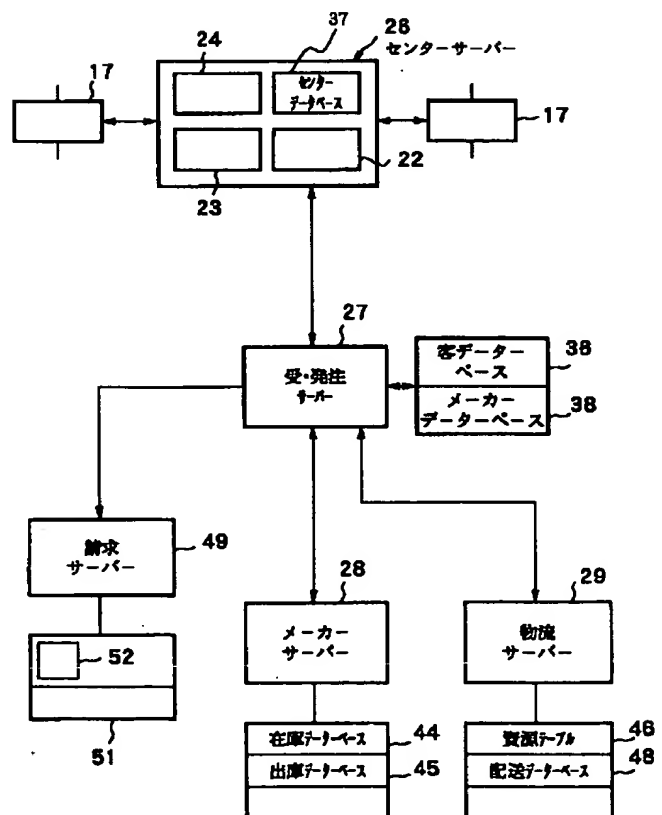
【図1】



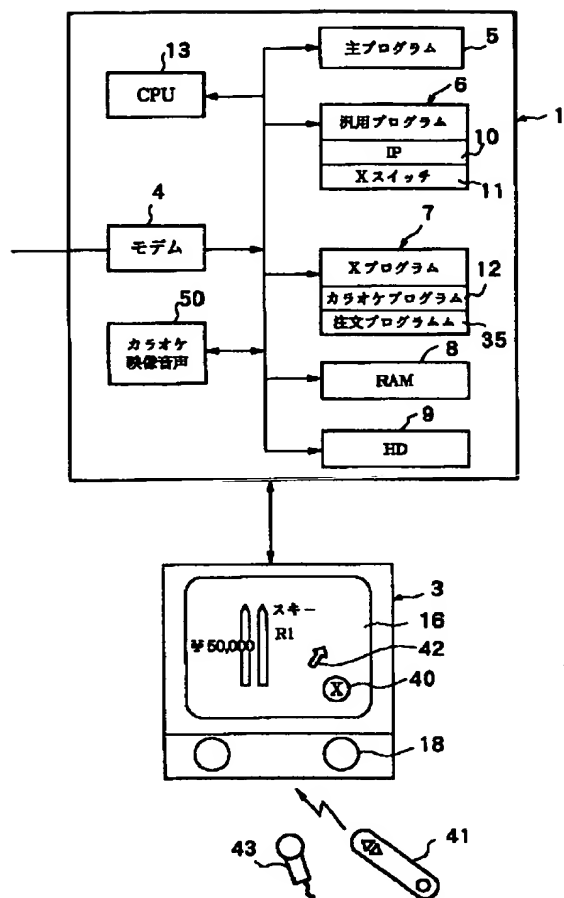
14

- 15 インターネット
- 16 CRT
- 17 情報データベース
- 18 スピーカ、
- 20 ホームページ
- 22、36、51 顧客データベース
- 23 サービスデータベース
- 24 物流データベース
- 26 センターサーバー
- 27 受・発注管理サーバー
- 28 メーカーサーバー
- 29 物流管理サーバー
- 35 注文プログラム
- 37 センターデータベース
- 38 メーカーデータベース
- 40 Xアイコン
- 41 リモートコントローラ
- 42 カーソル
- 43 マイク
- 44 在庫データベース
- 45 出庫データベース
- 46 資源テーブル
- 48 配送データベース
- 49 請求管理サーバー
- 52 請求書フォーム

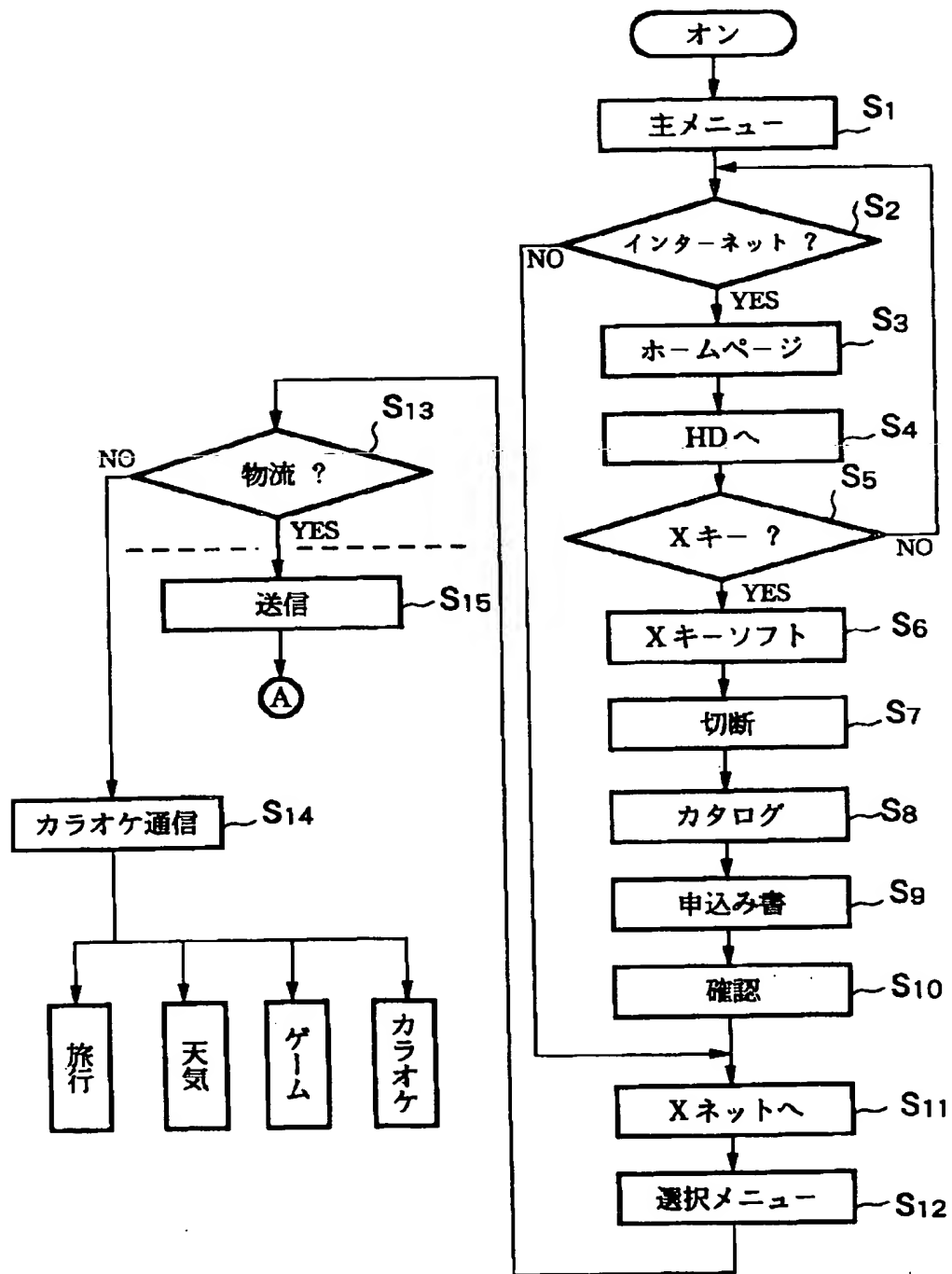
【図2】



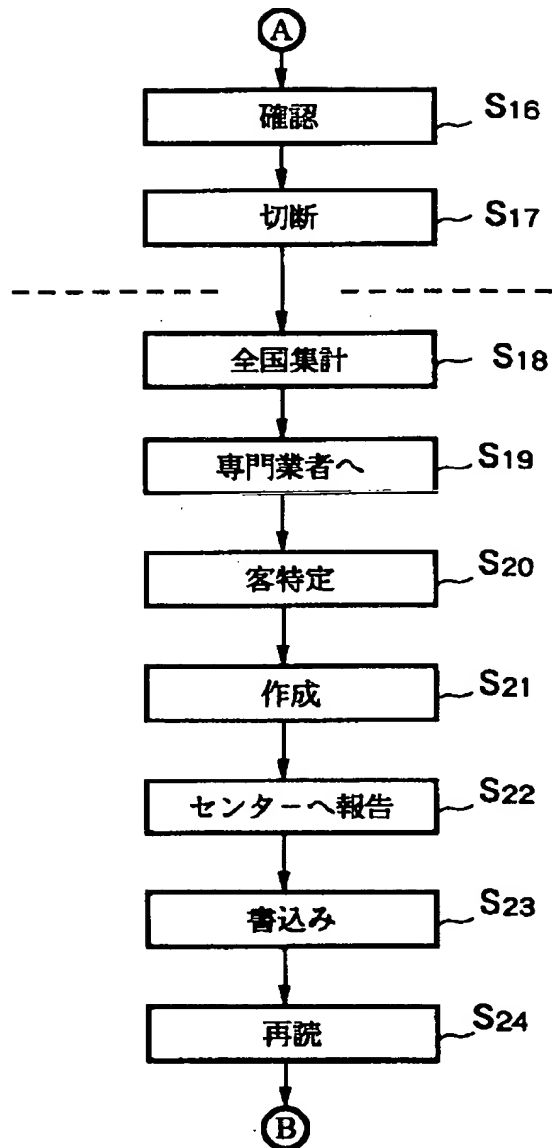
【図 4】



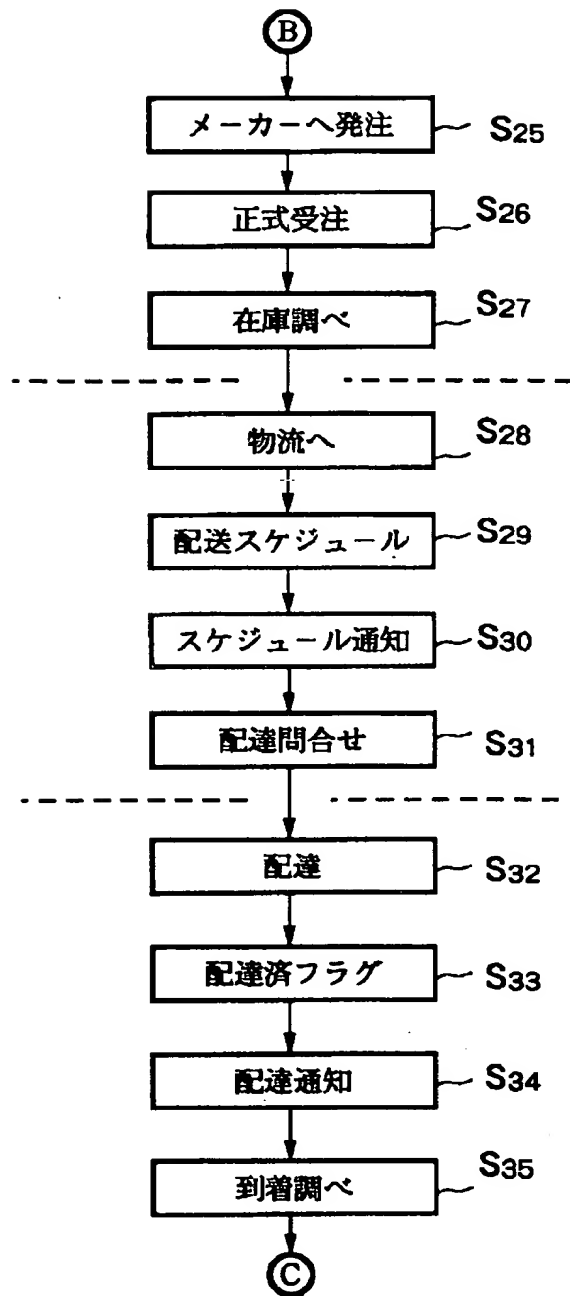
【図 5】



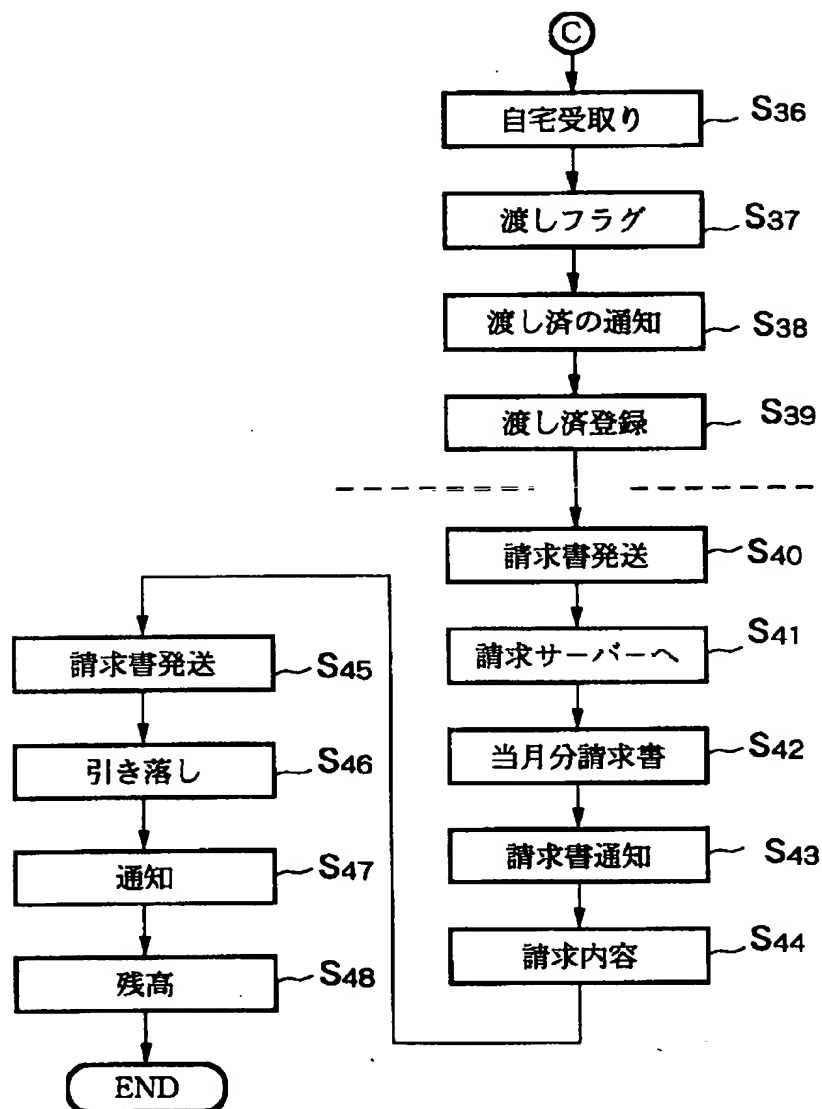
【図 6】



【図 7】



【図 8】



フロントページの続き

(72) 発明者 青木 一郎
東京都千代田区平河町二丁目 7 番 4 号 株
式会社京セラマルチメディアコーポレーシ
ョン内